

石川県創造的復興プラン(仮称)骨子

- I 基本的な考え方
- II 計画期間
- III 施策の体系とその概要

I 基本的考え方

- 現役世代、女性、広域避難された方も含めた**被災地の住民・事業者の声を聞き**、過去の災害からの復興の教訓を生かしながら復興を進める
- 単なる復旧にとどめず、自然と共生する能登の魅力を守り高めることで、能登ブランドをより一層高める**「創造的復興」**を目指す
- 今後を担う若い世代や民間・外部の力も活用しながら、地方の課題解決のモデルとなるような、**能登らしく**しなやかな復興を実現する

令和6年能登半島地震により特に甚大な被害を受けた能登では、昔から時に厳しくもとても豊かな自然環境の中で、自然の恵みに感謝しながら、人々が暮らしや文化を作り上げてきました。

復興に際しては、そうした**他にはない豊富な地域資源の魅力の高付加価値化を図る**ことで、質を求める新しい時代にふさわしい地域づくりができるはずです。

また、我が国は今、人口減少と東京一極集中が進んでおり、能登の復興は、近い将来、多くの地方が直面する課題の解となる可能性があります。

半島という地理的特性も踏まえ、長期的な人口減少にも対応しながら、能登が復興を遂げるためには、どのような能登となればよいのか、**今一度住民とともに考え、その輝きを取り戻すための方策をまとめていきます**。それはひいては石川県全体の発展につながると考えます。



白米千枚田

(写真)県観光公式サイト

Ⅱ 計画期間

今回の震災ではインフラが大規模、広範囲に損傷しました。復興に向けた道のりには時間を要するなか、**県成長戦略の目標年次である令和14年度末を計画期間**とした上で取り組みを進めます。各施策については、復興タイムラインを設定し「いつ頃までに何がどうなるのか」を示し、目安をもって将来の能登の姿をイメージできるように、短期、中期、長期に分け、復興に取り組めます。



水道管の復旧作業状況（輪島市）

(写真)令和6年能登半島地震復旧・復興支援本部（第4回）資料



Ⅲ 施策の体系とその概要

1 教訓を踏まえた
災害に強い地域づくり

2 能登の特色ある
生業(なりわい)の再建

3 暮らしとコミュニティの再建

4 安全・安心な地域づくり

5 創造的復興リーディング
プロジェクトの創出

1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

現在、国や全国の自治体、日本水道協会など関係機関のご支援をいただきながら、**応急復旧**が進んでいます。インフラの早期復旧は今後の全ての復興の前提となるものであり、その迅速化を図ります。

また、今回の地震では、多くのインフラが損傷しましたが、耐震技術と損傷の関係について技術的な検証を行い、今後のインフラの強靱化を進めます。その際には、「線をつながるインフラ」に加え、**自立分散型**の「点でまかなうインフラ」も選択肢の一つとし、地域の実情に応じた復旧のあり方についても検討します。

また、情報通信インフラの充実のほか、**液状化対策**、**住宅の耐震化**など災害に強いまちづくりを進めます。



県道の復旧作業状況（輪島市内）

1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

施策 1 公共土木施設等の復旧促進

- 国、事業者と連携した復旧事業の促進

など

施策 2 復旧工事の迅速化

- 災害査定の簡素化、合理化
- 発注者調整会議の実施

など

施策 3 支援者支援の拠点の確保

- 行政応援職員、ボランティア、医療スタッフなどの宿泊拠点の確保

など

施策 4 災害廃棄物の処理促進

- 県内外での広域処理や再生利用の促進
- 被災建物の公費解体の促進
- 被災市町への人的・技術的支援

など

施策 5 復旧を担う人材の確保

- 被災地での求職、求人のマッチング実施
・被災者の雇用支援と復旧・復興人材の確保

など



公費解体の様子

(写真)能登町

1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

施策 6 公共土木施設等の強靱化

- 有識者等を交えた技術的な検証の実施
- 道路
 - ・ 幹線道路ネットワークの多重化の検討
 - ・ 強靱な道路構造の採用（補強盛土、防災路肩等）
- 上下水道
 - ・ 市町のまちづくりと一体となった上下水道インフラの最適化
 - ・ 上下水道施設の耐震化・停電対策
 - ・ 県水送水管の2系統化の推進
- 砂防、河川、海岸
 - ・ 重要インフラや避難所等を守る土砂災害対策の推進
- 港湾
 - ・ 支援物資等の輸送拠点として重要な役割を担う港湾施設の強靱化
- 農林水産施設
 - ・ 農地・農業用施設、林道・治山施設、漁港等の強靱化
- のと里山空港
 - ・ 防災拠点としての機能強化
- 道の駅
 - ・ 自家発電、貯水施設等
- 交通安全施設
 - ・ 信号機への電源付加装置等

など

施策 7 災害に強いまちづくりの推進

- 宅地と一体的に行われる液状化対策の推進
- 住宅の耐震化の促進
- 災害時の生活用水の確保
 - ・ 道路の消雪用井戸や地すべり施設(集水井)等の活用

など

施策 8 情報通信基盤の強靱化

- 通信事業者と連携した通信インフラの充実
- のと里山海道における不感地帯の解消
- 災害時の情報通信手段の確保

など

2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

能登の魅力は、**農林水産業**、**伝統産業**、**観光産業**などの特色ある生業が重なり合って形成されています。これら生業の再建なくして能登の復興はありません。

特に、高齢の事業主が多いことや度重なる震災被害により事業意欲が削がれていることなどの今回の特殊性に鑑み、事業の再建支援は強力に行う必要があります。施設再建等についての国の制度を最大限活用しつつ、**販路開拓**や**雇用維持**などに幅広く支援を行います。

また、仮設店舗や物産フェアなどで事業再建までの間の**生業継続**を支援します。

輪島塗をはじめとする伝統工芸は石川県の大事な個性、強みであり、世界に誇る我が国の大事な財産であります。それらの**事業再建**と**伝統の継承**を支援します。

能登の観光の拠点である和倉温泉や輪島朝市などについては、今回の復興を契機に**高付加価値化**を図るための面的なまちづくりを支援します。

今、能登には全国からの注目が集まっています。この機会をとらえ、食や地酒、自然といった能登の地域資源を活かした**新しい事業創出**を積極的に支援します。



輪島塗の制作

(写真)県観光公式サイト

2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

施策1 被災した事業施設等の 早期復旧・復興支援

- 各種支援制度の円滑な活用に向けた支援
・「なりわい再建支援補助金」等の活用促進に向けた相談体制の充実
など

施策3 農林水産業の再建

- 地域の生業再建
・担い手の確保、生産体制の強化、農林水産物の消費・利用拡大
・生業継続を通じた農村コミュニティの維持・再生・強化
- 「能登ブランド」の価値向上
・「百万石の極み」をはじめとした能登の特色ある食材の価値向上
・世界農業遺産ブランドの高付加価値化
- 被災した農林水産関係施設などの復旧・強靱化
など

施策4 伝統工芸産業の再建

- 伝統的工芸品の復興に向けた支援
・仮設工房の開設支援
など

施策2 事業再建までの支援

- 仮設店舗等の開設支援
- 各種物産フェアの実施
・県内外での能登産物産の販売機会の提供
- 雇用維持の支援
・在籍型出向制度の活用など雇用維持に向けた専門家派遣
- 事業主の支援
・被災地での求職、求人マッチングの実施（再掲）
など



輪島朝市

(写真)県観光公式サイト

2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

施策5 商店街・市街地の再建

- **和倉温泉、輪島朝市等**のまちづくり支援
 - ・若手が積極的に関わるビジョン策定と具現化に向けた支援
- 仮設店舗等の開設支援（再掲）
- 販わい創出支援

など

施策6 観光産業の再建

- 観光需要の喚起
 - ・風評被害の解消及び能登での手厚い旅行需要喚起
- 観光地域づくり体制の強化
 - ・和倉温泉を核とした観光振興
- 受け地の魅力づくり
 - ・**高付加価値化**支援
- 能登地域への教育旅行の誘致
 - ・防災・減災、復興過程など
- インバウンド誘致強化
 - ・高付加価値旅行者の誘致

など

施策7 新しい事業の創出

- **地域資源を活かした**起業促進
- **食文化（食、地酒等）**の魅力発信
- 能登での企業誘致の促進

など



和倉温泉

(写真)県観光公式サイト

3 暮らしとコミュニティの再建

復興にあたっては、人のつながりが重要であり、**固い絆で結ばれる能登の地域コミュニティ**の力を維持・強化していきます。

住まいの再建は、日常を取り戻すための基本であり、**仮設住宅**の整備を早急に進めていきます。将来の生活再建を見据え、**住民の意向**を確認しながら、長期の利用も可能なまちづくり型・ふるさと回帰型の木造住宅（長屋・戸建て風）の整備も行います。

能登一帯に残されている「キリコ祭り」や「あえのこと」など独特の祭りや風習は、能登の魅力の一つであるとともに、地域に暮らす人々の絆でもあります。**祭りや文化財**については被害状況を調査し、修復や再建を支援するとともに、その修復の過程を見せたり、修復に参加するツアーなども検討します。

学校は教育の提供だけでなく、地域を担う人材の育成の場でもあります。学生と地域が一体となり、少子化の中、どのような**魅力ある学校づくり**ができるか検討します。

このほか、**デジタルなど新しい技術**を活用したスマート生活の実現や地域公共交通の再建についても検討します。



あばれ祭

(写真)県観光公式サイト

3 暮らしとコミュニティの再建

施策1 暮らしと住まいの再建

- 仮設住宅の建設促進
 - ・石川モデルの推進など
- 災害公営住宅の整備
- 住宅再建への支援
 - ・被災者生活再建支援金、新たな交付金等の円滑な支給、現役世代の住宅再建支援
- 復興まちづくりへの支援
 - ・面的なまちづくりへの支援
 - ・被災駅舎等の再建支援（穴水駅等）
- 集会所などコミュニティ施設の再建

など

施策2 祭りの再開支援、文化財の再建

- 社寺、キリコ、山車などの祭り用具の再建等
 - ・復興過程の発信や修復への参加ツアーも検討
- 被災文化財の早期復旧
 - ・被災文化財の修復への支援
 - ・調査、救出、技術支援等
- 無形(民俗)文化財の再建

など

施策3 地域公共交通の再建

- 利用者視点に立った持続可能な地域公共交通のあり方の検討
 - ・鉄道、バス、タクシー、自家用有償旅客運送など

など



農耕儀礼 あえのこと
(ユネスコ無形文化遺産)

(写真)珠洲市HP

3 暮らしとコミュニティの再建

施策4 学びの環境の再建

- 学校施設等の早期復旧
- 学びの継続支援等
 - ・オンライン授業の実施など
- 教育にかかる経済的負担の軽減
- 教員の生活環境の充実
- 被災した児童生徒の心のケア
- **魅力ある学校づくりの推進**

など

施策5 スマート生活の実現

- マイナンバーカードの普及促進
- オンライン診療の実施
- 自家用有償旅客運送の検討（再掲）
- ドローン配送

など



高校生の地域留学推進のための
高校魅力化支援事業（内閣府）



(写真)能登高校HP

4 安全・安心な地域づくり

平素から適切な医療や福祉サービスが受けられることが、安全・安心な暮らしの基本であり、今回、その重要性が再認識されました。こうしたことも踏まえ、災害医療提供体制の充実を図るとともに、**奥能登の公立4病院の機能強化**を検討します。また、高齢者や障害のある方、子育て世帯など、すべての人が安心して暮らせるように福祉サービスの再建・強化も図ります。

今回の地震に対する危機管理対応や備え、避難所の運営については、有識者による検証を行い、**防災計画の見直し**などを行います。

また、今回の教訓を踏まえ、被災者への対応、避難所での環境整備、孤立が発生した場合への備えなどについても充実させるほか、**デジタル技術を活用した災害に強い地域づくり**も実現していきます。



石川県災害対策本部員会議

(写真)石川県

4 安全・安心な地域づくり

施策 1 医療・福祉・子育て支援体制の再建・強化

- **奥能登の公立4病院の機能強化**
 - ・機能強化検討会(仮称)の設置
- 奥能登における**周産期医療体制の確保**
 - ・奥能登の妊婦が安心して出産できる体制の確保
- **災害医療提供体制の充実**
 - ・救急医療・搬送体制の充実強化、DMATの研修の充実など
- ICTを活用した地域医療の推進
 - ・診療調剤への**マイナンバーカードの活用**、オンライン診療の推進等(再掲)
- 福祉事業の提供体制強化
 - ・高齢者、障害者、子育てサービスの充実
- **福祉人材の確保・離職防止**
- 避難者、被災者の健康管理

など

施策 2 危機管理対応の検証と充実

- 危機管理対応の検証
 - ・教訓の抽出、防災計画や地震被害想定の見直し
- 平時から備える**デジタルライフライン**構想の推進
- ハザードマップの見直し
- **災害時応援協定の拡充**

など



1.5次避難所の医療サービスの様子
(いしかわ総合スポーツセンター)

(写真)石川県

4 安全・安心な地域づくり

施策3 孤立化への備え

- 衛星系通信の活用
- ヘリ等の場外離着陸場の確保
- ドローンを活用した被災情報の収集や物資輸送体制の確保

など

施策4 被災者への支援の充実

- 医薬品供給体制の充実
- 避難所の自立型エネルギーの整備促進
- 男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災対策
- 避難所の生活環境の向上
 - ・入浴、洗濯、散髪等のサービス提供の確保
 - ・ペット同伴避難所の指定
- 被災者台帳のデータベース化

など

施策5 警察の災害対応の強化

- 被災地での活動を支える設備・機材の充実
 - ・デジタル通信機器など
- 被災地での防犯活動の強化
 - ・移動交番車の運用、安全情報の発信など

など



避難所の様子（1月8日 七尾市内）

（写真）石川県

5 創造的復興リーディングプロジェクトの創出

住む人が希望や生きがいを感じ、外からも多くの人を惹きつける能登を創造するため、能登の特色を活かした思い切ったプロジェクトを数多く創出します。

能登にはこれまでも、外部から移住され様々な事業を営んでいる方が大勢おられます。また、金沢大学の能登学舎をはじめ、大学生の課外活動も盛んです。そして今、都市と地方双方に拠点を構える新しいライフスタイルである**二地域居住の取り組み**が国を挙げて動き出そうとしています。

こうした流れをとらえ、能登全域でさらには石川全域でこうした**関係人口の受け入れを推進**するとともに、**サテライトキャンパス構想**を推進します。

白米千枚田の再生やトキ放鳥など能登の復興のシンボルとなる取り組みを通じて、世界農業遺産の魅力発信を行います。

このほか、金沢・能登間の移動高速化に向けたのと里山海道の4車線化整備の促進、能登の海岸線の眺望を生かした「**能登半島絶景街道**」構想を推進します。



木浦ビレッジの coworking スペース

(写真) 珠洲市観光交流課

5 創造的復興リーディングプロジェクトの創出

施策1 関係人口創出・拡大プロジェクト

- 関係人口創出拠点の確保
 - ・移住起業、二地域居住希望者などの受け入れ推進
- 古民家等を活用した民泊創出の促進
- 移住起業の促進

など

施策2 学都石川の力の活用

- 金大「能登里山里海未来創造センター」など高等教育機関と連携した復興の推進
- 能登サテライトキャンパス構想の推進
 - ・ゼミ活動の誘致促進
 - ・能登出身者が復興に関わる機会の提供
- 学生などの祭りへの参加促進

など

施策3 世界農業遺産など「能登ブランド」の価値向上

- 白米千枚田など世界農業遺産の魅力強化
- 世界農業遺産の保全活動への支援
- トキ放鳥の実現とトキをシンボルとした地域活性化
- トキ放鳥に向けた餌場づくりなど地域の取組支援
- 能登半島国定公園の魅力活用
 - ・能登半島エコツーリズムの推進(のとSDGsトレイル(仮称)など)

など



(写真)金沢大学里山里海SDGsマイスタープログラムHP

5 創造的復興リーディングプロジェクトの創出

施策4 文化・スポーツの力の活用

- 能登地域復興の象徴となる文化芸術イベント、スポーツイベントの開催
- 「東アジア文化都市事業」の再誘致

など

施策6 能登・金沢間交通高速化

- のと里山海道の4車線化の促進
- 能登地区の幹線道路の機能強化

など

施策7 能登半島絶景街道構想の推進

- 眺望に優れた海岸線を周遊する道路の整備
- サイクルツーリズムへの対応

など

施策8 地震遺構の調査・発信

- 地盤隆起や断層等の地域資源化に向けた調査

など

施策5 のと里山空港の拠点化推進

- プライベートジェット誘致、ゼネラルアビエーション拠点に向けた調査
- 防災拠点としての機能強化
- 関係人口創出・交流人口拡大の推進拠点（再掲）

など



禄剛崎

(写真)石川県